

年表・北区のあゆみ

- 安政 5年 (1858) 幕吏荒井金助が荒井村を創設
- 安政 6年 (1859) 早山清太郎が篠路に入植(篠路村の開基)
- 明治 2年 (1869) 開拓使が置かれ、島義勇判官が札幌建設に着手
- 明治 4年 (1871) 札幌最初の公園「偕楽園」を開設
- 明治13年 (1880) 偕楽園内に貴賓の接待所として「清華亭」を建築
- 明治15年 (1882) 徳島県人滝本五郎らが「興産社」を組織して篠路に入植し、藍を栽培
- 明治19年 (1886) 新川運河(札幌一オタルナイ間)開削
- 明治20年 (1887) 九州の士族を中心に屯田兵146戸が新琴似に入植
- 明治22年 (1889) 熊本ほか6県から士族220戸の屯田兵が発寒川付近に入植(現・屯田地区)
- 明治23年 (1890) 帝国製麻株式会社が麻生地域に垂麻製線工場を建設
- 明治30年 (1897) このころ、新琴似歌舞伎始まる
- 明治32年 (1899) 篠路獅子舞が演じられていた
- 明治35年 (1902) 篠路村烈々布部落で篠路歌舞伎始まる
- 明治36年 (1903) 札幌農学校が北8西5の新校舎に移転
- 昭和 2年 (1927) 市電鉄北線(北6条～北18条)が開通
- 昭和 9年 (1934) 札沼線(桑園～当別)が開通
- 昭和30年 (1955) 琴似町・篠路村が札幌市と合併
- 昭和38年 (1963) 市電鉄北線を延長(北27条～麻生町)
- 昭和39年 (1964) 市電鉄北線を新琴似駅まで延長
- 昭和46年 (1971) 地下鉄南線(真駒内～北24条)が開通
市電鉄北線(北5条～北24条)が廃止
- 昭和47年 (1972) 政令指定都市移行に伴い、北区役所開設
- 昭和49年 (1974) 市電鉄北線北24条以北が廃止
- 昭和53年 (1978) 地下鉄南線を麻生まで延長
- 昭和55年 (1980) ニュータウン「あいの里」着工
- 昭和59年 (1984) 北区民センターで藍染が復活
- 昭和60年 (1985) 篠路コミュニティセンター開館、篠路歌舞伎が復活
- 昭和61年 (1986) 「'86さっぽろ花と緑の博覧会」が百合が原公園で開催される
札沼線に新川・太平・百合が原・あいの里教育大駅開設
- 昭和63年 (1988) JR札幌駅鉄道高架開通
- 平成元年 (1989) 西5丁目通の高架下部分平面化開通
- 平成 2年 (1990) 「北区歴史と文化の八十八選」選定
- 平成 4年 (1992) 札樽自動車道(札幌西IC～札幌JCT)開通
- 平成 8年 (1996) 新琴似歌舞伎復活公演開催
- 平成12年 (2000) 札沼線の高架・複線化(八軒～創成川通)完成
- 平成13年 (2001) 環状通エルムトンネルが開通
- 平成14年 (2002) 篠路アンダーパスが開通
- 平成15年 (2003) 北8条西3丁目に札幌エルプラザ公共4施設が完成
- 平成21年 (2009) 当別町との連携事業「亜麻のフラワーロード」事業開始
- 平成22年 (2010) 麻生まちづくりセンター自主運営化
北区まちづくり協議会設立
- 平成23年 (2011) 篠路歌舞伎・新琴似歌舞伎復活周年記念公演「座・歌舞伎 伝統芸能フェスタ」開催
- 平成24年 (2012) 札沼線(札幌～北海道医療大学間)が電化
- 平成26年 (2014) 新川連合町内会が名称を「新川さくら並木連合町内会」に変更



清華亭



滝本 五郎



新琴似歌舞伎
(田中松次郎)



篠路獅子舞



あいの里開発記念之碑



'86さっぽろ花と緑の
博覧会モニュメント



北区まちづくり
協議会設立総会



新琴似駅前に
咲き誇る亜麻